

「南極ってこんなにすごかった」を読んで

僕は、女性で、日本人初のスキーを使って南極に到着したことに感動しました。しかし、到着するまではとても大変だったと思います。僕は、顔が痛い・冷たいの感覚がなくなるほどの凍傷になるなど、命が危険な状態にあるにもかかわらず、あきらめずに南極点に向かう姿がすばらしいと思いました。また、こんな大変な思いをしているのに、そのことが喜びに変わったことが不思議でした。

また、途中で食糧が不足したとき、ノートを破ってまで食べようという文章に驚きました。僕は、今まで以上に食べ物を粗末にはしてはいけないと思いました。

食料が 3 日分しかないなど、とても厳しい状況の中で、一つのことを成し遂げた続さんに感動しました。この「人に学ぶ」で私が学んだことは、「できないと思っていたら何もできないまま」ということです。「自分にもできる」と思っていれば、そのうちにできるようになる、ということを学びました。自分を極限まで追い込んで、南極点にたどり着いた続さんの気持ち（根性）を見習いたいと思いました。そして、自分に厳しく生きていこうと思いました。

私は、人が生きていく上で、食料がとても大切だと思いました。食料が足りなくなって、ノートを食べようとするまで追いつめられた続さんが、それでも生きていられたのは、心の強さだと思います。また、小さい頃から運動が苦手だった続さんは、運動の得意な人を見てうらやましかったと思います。続さんは、うらやましいという気持ちを、自分の目標に変えてがんばり続けた人だと思います。私も、生きていく上で、目標をしっかりともち、目標に向かって生きられる大人になりたいと思いました。

続さんは、日本人女性として初めてスキーで南極点に到達しました。とてもすばらしいことだと思いました。1200 km という距離には、本当にびっくりしました。

この「人に学ぶ」を読んでいると、続さんの心の強さや努力などが目に見えてくるようです。1200 km の間には、いろいろな苦難があったと思います。この苦難を乗り越えていく姿に、私はとても感動しました。私は、続さんの強さと努力、がんばり続けたことに感動しました。

私も、続さんのようになれたらいいと思いました。

僕は、小さい頃から運動の苦手な人が、南極点に日本人女性として初めてスキーで到達するなんて、すごい努力家だと思いました。僕は、これまで得意なことを活かした仕事をしようと思っていた。しかし、得意でないからできない、という考え方ではなく、一つのことをするために、どんな努力をしたかが大切なのだと思いました。このことを、僕の生き方に活かしたいです。

「第 1 回定期考査で自己ベストを目指しましょう」